

§ 4-2. 生命環境化学科 / Dept. of Life, Environment, and Applied Chemistry

1 ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針) とカリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

■教育研究上の目的

地球の様々な環境問題が深刻化する今日、環境の管理、保全、改善と修復の基本理念を理解し、物理・化学的、及び生物的アプローチ等の多様な先端技術を用いて、問題を解決する能力を持つ自立した技術者の養成を目的とする。

■ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針) とカリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

共通コンピテンシー (能力・資質)		定義	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー (編成方針)
DP1	A	幅広い教養	リベラルアーツを旨とした知識と思考力	自然科学的な手法を用いて、化学や生命科学に関する様々な問題に対して多角的視点から理解できる。
	B	専門知識・技能	当該分野において必要とされる知識と技能	物質化学、環境・エネルギー、生命・食品化学に関する専門知識および実験技術の習得と、それらを問題解決に応用できる能力を身につけている。
DP2	C	ライフデザイン力	自分の将来を設計・構想し、成長を目指すことができる力	技術者としての将来のキャリアを展望し、構想した目標に向かって成長する能力を身につけている。
	D	メタ認知・実現力	自らを客観的に理解し、目標を実現できる力	客観的な自己理解のもとでの確かな計画を立案・実行し、その進捗や成果を自己評価し、必要に応じて計画を修正しながら、成果をまとめる能力を身につけている。
DP3	E	グローバルマインド	異なる背景や文化を持つ人々と積極的に関わり、協働できる力	様々な背景や考え方を持つ人々と積極的に関わり、他者と協力しながらチームで仕事を遂行する能力を身につけている。
	F	未来構想力	より良い未来を構想し、新しい解を生み出す力	実験・研究などを通して問題点を発見し、幅広い知識と情報を統合・応用して問題解決に導き、新しい解決策を構想する能力を身につけている。
DP4	G	デジタル力	数理の基礎知識を基に、情報を的確に整理・分析することができる力	自然科学に関する基礎知識とコンピュータ利用技術を用いて情報を整理・分析し、問題解決に応用できる能力を身につけている。
	H	発信力	自らの考えを適切に伝えることができる力	日本語で理論的記述や口頭発表ができ、自らの考えを適切に伝えながら他者と意見交換ができる能力、および英語での基本的なコミュニケーション能力を身につけている。

■カリキュラム・ポリシー（実施方針）

【学修方法】

1	実験科目を軸にアクティブ・ラーニングを実践し、主体的に学ぶ力を向上させる。
2	将来のキャリアに基づく自己の課題や目標を考え、自立した技術者を育成するための教育を展開する。
3	化学および生命科学の基礎知識と応用力を持ち、社会や環境の課題に貢献できる人材を育成するためのプログラムを実施する。
4	学修活動全般を通じて、数理的なものの見方を身に付け、実験データを的確に整理・分析し、適切なデジタルツールを用いて研究成果を発信する能力を養成する。

【学修成果の評価】

1	各授業科目の学修内容、到達目標、成績評価の方法・基準をシラバスより学生に周知し、それに則した厳格な成績評価を行う。
2	卒業判定は、卒業要件として必要とされる単位数の取得に加え、卒業研究発表会での発表ならびに卒業論文の作成を含め、ディプロマ・ポリシーに基づき総合的に評価して行う。

■学修領域（教育分野）

- ①物質化学分野
- ②環境・エネルギー分野
- ③生命科学分野
- ④食品分野

■コース説明

2年次後期より「生命環境化学コース」もしくは「食品コース」のいずれかのコースに分かれる。「生命環境化学コース」では、基盤化学科目を基礎とし、主に物質化学、環境・エネルギー、生命科学の各分野に関わる科目を履修する。「食品コース」では、基盤化学科目を基礎としつつ、主に食品分野に関わる科目を履修する。